

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	子ども子育て課	尾本 浩	2500

コード	I-2-4	施策名	地域における子育て環境の充実
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	保護者が安心して子育てができるために、また子どもが将来に夢や希望を持って自立して社会人へと育つために、きめ細かな相談や支援が受けられる子育て環境の充実に努めます。特別な支援を必要とする子どもや保護者に対する支援を強化し、ケースに応じた迅速な対応ができる体制づくりをめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様化、複雑化、複合化する子ども子育てに関する課題に対応するため、ちあぼーとを拠点に機能強化を図ります。 子育て支援サービスの充実を図るとともに、わかりやすく、きめ細かな情報提供を行います。 地域の子育て支援体制の強化や、幼児教育・保育環境の充実に努めます。 児童虐待防止のため、早期発見・早期対応を行い、関係機関との連携強化を行います。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移								
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
ちあぼーとにおける相談件数	子育て支援コーディネーター及び保育士が相談対応した年間件数	目標 実績 達成率	件数	2,316	2,295						2,000
				114.8%							
				14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500		
子育て支援拠点の就学前児童の年間利用者数	子育て支援拠点からの活動報告	目標 実績 達成率	人	8,283	7,653						14,500
				52.8%							
				22	24	26	28	30			
ファミリーサポートセンター事業提供会員数【累計】	提供会員数(人)	目標 実績 達成率	人	24	23						30
				104.5%							
				450	500	550	600	650			
白杵市版母子手帳アプリ「ちあほっと」の登録数【累計】	「ちあほっと」の登録数(アプリをダウンロードした人の数)の累計	目標 実績 達成率	人	396	491						650
				109.1%							
				99.0	99.0	99.0	99.0	99.0			
保育所等の就園率	各年度の2月1日時点における3歳～5歳の保育所、認定こども園、幼稚園への就園児数÷3～5歳児数	目標 実績 達成率	割合	98.6	98.1						99.0
				99.1%							
指標の分析	子ども・子育て総合支援センター「ちあぼーと」を中心に子育て支援の充実に取り組んでおり、施策の拡充や相談支援体制の強化を図っています。相談支援訪問人数は、きめ細かな相談体制により、支援につくことができるようになったことなどから減少しているものと思われます。ただし、相談内容は複雑多岐にわたるため、引き続き相談支援体制の充実に努めます。子育て拠点は、コロナの影響により来所利用を休止したため利用者数が減少しています。また「ちあほっと」は、きめ細かな情報発信に努めます。保育所等の就園率は、3～5歳が就園率が高く、各園の保育体制や環境が充実しており、子どもの成長に合わせて、入園を希望する傾向があります。										

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	向上領域	2.65	2.13
	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。		
市民意識調査結果分析	「必要度」「満足度」ともに前年度より高くなっています。コロナ禍においても、幼児教育・保育の充実やきめ細やかな対応に努めていることが結果に表れていると考えます。引き続き、市民からの様々なニーズへの対応や相談内容も多岐にわたるため、子育て支援サービスの充実や相談支援を推進し、更なる必要度・満足度のアップを目指します。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	令和元年10月からの幼児教育・保育無償化への対応や令和2年度からの「第2期子ども子育て支援事業計画」の策定に伴い、この計画に基づく様々な事業を積極的に推進していく必要があります。「ちあぼーと」を中心に、妊娠期から出産、子育てまで切れ目のない支援や子育てと仕事で両立できる環境の充実支援が求められます。また、こうした施策や事業の積極的で分かりやすい情報発信も必要となります。更に、児童虐待防止への対応として、若年妊娠や望まぬ妊娠に対して、母子保健と子育て支援の両方の観点から、早期対応し関係機関と連携した取組みが必要不可欠です。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 病児・病後児保育事業	保護者が、子どもを見られないとき預かります。	子ども子育て課		19,582	19,418	15,293	重点継続	○	I-2-3
2 子育て支援拠点事業	子育て親子の交流や相談支援を行う子育て支援拠点事業を市内4カ所に委託します。	子ども子育て課		38,205	38,722	38,722	重点継続		I-2-3
3 子ども子育て総合支援センター運営費	子ども子育て総合支援センターを運営する経費です。	子ども子育て課		4,676	2,924	5,000	継続	○	I-2-3
4 出生祝い品贈呈事業	出生祝い品として、商品券2万円分を贈呈。	子ども子育て課	○	1,660	2,668	3,600	継続	○	I-2-3
5 公立保育所指定管理委託事業	下南こども園の管理・運営に伴う指定管理業務	子ども子育て課	○	85,858	103,992	109,861	重点継続		I-2-3
6									
7									
8									
9									
10									
合計				149,981	167,724	172,476			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	本市にとって子育て支援の充実強化は重点施策であり、総合計画と第2期子ども・子育て支援事業計画に基づく施策を、様々な関係機関と連携しながら推進し、さらなる充実強化に取り組んでいきます。保護者の様々な育児不安な悩みに対して児童福祉施設と連携し相談対応するとともに、支援サービス等の積極的な情報提供を行います。また、新型コロナウイルスの影響を把握しながら適切な支援に向けて検討していきます。更には、児童虐待防止や早期発見・早期対応を関係機関と連携強化し、取り組んでいくことが求められています。	課長評価	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する
------	---	------	----------------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	令和2年度においても、取り組みを強化して実施しているが、継続した内容が主であったため、重点施策として実施しているものと評価。
------	----------------------------	--

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	ちあぼーとの一つの窓口で全て完結など、白杵市が本当に子育てしやすい環境にあると感じている。就学前の健診についても、こども園と連携し、健診受診の働きかけを行うなど、関係機関と連携した取り組みができていて実感している。子ども数が減少していること以外、白杵市の子育て施策は順調だと感じている。この施策を拡充し、市内への移住・定住に結び付けてほしい。	外部評価	強化
---------	---	------	----

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

ちあぼーとでの相談は、関係機関と連携を図りながら、内容に応じて今後も適切に対応したい。ちあほっとは、妊娠中から小学校就学前までの成長記録を行う母子手帳を補完するものとして活用してほしいと考えている。
